



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

# 万葉のまち 市辺

第47号

平成31年4月

市辺れきし発見塾  
『古文書にふれてみませんか』

発行:市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391  
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392  
ホームページ 万葉のまち市辺 [ichinobe.com](http://ichinobe.com)



万葉のまち市辺

検索

## 減災のまちづくりプロジェクト

第45号で平成30年度の活動計画などを紹介しました。今号は続編として、同プロジェクト代表の榎木貞夫氏から活動の経過や展望をお聞きしました。

◆皆さん、お気づきでしたか。去る3月9日の夜中に東近江市で震度3の地震がありました。最近全国各地で地震が発生していますね。近い将来起こると予想されている南海トラフ大地震も現実のものと考えざるを得ません。でも、皆さんの心の中には私たちの住む市辺は大丈夫だという気持ちがあるように思えてなりません。

◆市辺地区まちづくり協議会では3年前に現在のプロジェクトを立ち上げ、不意に起こる地震に備えて、まず自分と家族の命を守るために何をなすべきかということを中心に取り組みを行いました。

地区の皆さんに実施しましたアンケートから、少数ではありましたが「どうしたらよいかかわからない」との不安の言葉が寄せられました。

このため昨年度は、災害弱者と言われている方々に対する方策について、プロジェクトとして何か提言することができないか検討を進めるとともに、自主防災組織の設立されていない全自治会に、設立に向けて一生懸命取り組んでいただきました。

現在行政が認定している災害弱者は、災害時の要支援者と言われている方々です。

先の西日本豪雨災害の時に岡山県の真備町で死亡された52人のうち45人が要支援者でした。ということは、要支援者に対して身近に住む私たちの役割がはっきりしていないことがわかりました。これを受け2019年度は、自

治会ならびに自主防災組織の皆さんと協力して「要支援者を中心とする災害弱者の誰に対して」まで決められた具体的な支援計画を作成し、訓練を定期化するところまでつなげたいと考えています。また、自主防災組織の未組織自治会をなくすことについても、その解消に一步步近づいているとの見通しが得られています。



2018年12月 ころぼ村で段ボールを使った実演の様子

◆また、安全安心部を中心に万葉フェスタや、市内で活動する団体の発表の場である「わくわくころぼ村」を活用し避難時に役立つ炊き出しご飯や段ボールを使ったトイレ・スリッパの作り方、簡易マスクの作り方の実演を披露して、多くの皆さんに関心を寄せて頂きました。今年も機会があれば参加したいと考えています。

◆先ほども述べましたが、2019年度は現在のプロジェクトの集大成の年にしたいと思っています。市辺地区の皆さんが本気で減災に取り組み、いざという時に「ああしておけばよかった」との言葉が出ないように取組みたいです。

自助

共助

## 東近江市消防団 第2方面隊 第6分団

公助

◆市辺地区の安心・安全のために無くてはならない「第6分団」ですが、身近な存在でありながら知らないことも多く、20年以上勤めておられる分団長の外村和康氏に活動の内容や想いなどをお聞きしました。

◆公設の消防機関には『常備消防本部・消防署』と『非常備消防「消防団」』があります。第6分団は「消防団」になり、団員は非常勤特別職の地方公務員になります。常備消防は専任の職員が勤務し、消防団員は他に職業を持ち、災害・訓練等の都度、出動をされています。

第6分団は市辺地区を担当し、常備消防の後方支援にあたり、具体的には東近江市消防団条例に従い「消火活動・残火処理・警戒巡視・避難誘導・災害対応・水防活動・行方不明者の捜索」など団長の指示を受け出動されています。

普段の活動として「消防操法訓練・特別警戒・防火指導・器具点検・啓発活動」などがあります。職場や家族の理解と協力により日頃の訓練を重ね、地域の安心・安全のため活動されています。また、定員は30名ですが2名欠員とのことです。

### 地震などの大災害時には…

◆災害対策本部の指示に従い「各町に数名ずついる団員のネットワークを活かして情報収集をし、可能な救援活動が出来れば」と考えておられます。そのためにも「欠員が出ないように自治会から新たな団員の推薦をして頂きたいことと、全自治会に団員が配置できれば」と願われています。

消防団に関心のある方は、外村氏までお問合せ下さい。



第6分団 幹部の方々

普段からチームワーク良く、堅く力を合わせて任務に励んでおられますが「現在は6月に開催されるポンプ操法訓練大会に出場し、続く県大会に向けて一致団結し頑張っている」と話されていました。

歴史・文化部  
市辺れきし発見「虫送り」  
DVDお披露目

市辺地区で受け継がれ現存している「虫送り」を取材し、貴重な文化遺産の資料として活用していただけるようDVDにしました。制作にご協力いただいた地域の皆様にご心より感謝申し上げます。



1月12日(土)には「お披露目会」を開催し公開致しました。入手されたい方は、市辺地区まちづくり協議会・事務局までお問合せください。

◆◆ 他地区から感想が届いています ◆◆

玉緒地区まちづくり協議会・事務局の米澤です。市辺れきし発見「虫送り」のDVDをお届けいただき、ありがとうございました。

昔、どこの地区でも行っていた「虫送り」行事を今も続けておられることは素晴らしいことです。また、小学生の子どもたちと一緒にすることで「こんなことをやったな」と記憶に残り、受け継がれていくのではないのでしょうか。

玉緒地区の春祭り「大森町の最上踊り」は、若い踊り手

が無いため今年から取り止めると聞いています。寂しいことです。ビデオに残すように昨年撮影されました。

古文書にふれてみませんか

3月23日(土)市辺れきし発見塾として、「古文書にふれてみませんか」と言うタイトルで、山岡静枝氏による講演があり、30余名が参加されました。

古文書とは歴史的資料として価値のある昔の書き物で、過去の時代の史料となる古い文書で「公文書・私文書」のことをいい、古記録と共に最も重要な時代を探る資料です。

古文書には形が縦帳(たてちょう)、横帳、横半帳、絵図、一紙文書(訴状)があり、内容は千差万別にあります。

村の歴史、人物、記録を読み解くには、まずは古文書にふれて、現代人には難解な「くずし字」をはじめ、それぞれの文字のもつ意味や、歴史的背景をも読み解くところから初めようとの講演でした。

関所手形や蒲生野に関する古文書「くずし字」の資料を頂き、一文字の解読違いで意味が違ったり、また書く人の癖字により読み解く事が難しいとのことでした。



… 県選択無形民俗文化財 …

法徳寺薬師堂 裸まつり

ふんどし姿の若連中が繭玉を奪い合う、法徳寺薬師堂「西市辺の裸まつり」が1月13日の夜にありました。餅で作られた繭玉を奪い合い、手にした者は良縁を授かるというこのまつりは600年以上の歴史があります。

午後7時ごろ、15歳から35歳の「若連中」19人が1人ずつ「お十二灯」と唱えながら賽銭を投げ入れ、お堂入ります。約1時間の酒式の後、太鼓の音に合わせて着ていた



羽織袴を脱ぎ捨て、ふんどし姿になった若連中は「頂礼 頂礼(チョウチャイ チョウチャイ)」の掛け声に力を得て、奪い合いが始まります。土台になってくれた仲間へ乗り、繭玉近くの梁に飛びつこうとしますが引きずり降ろされたりします。見事、争奪戦を制したのは森 大和さん(16)で昨年に続き2年連続で幸運を手に入れました。

この後、五穀豊穰や無病息災を祈願する踊りが夜半まで続きます。

自然・環境部 1月31日(木) 40名の参加

「ひらかた夢工房」を見学

使い終わった物をそのまま捨ててしまえば、身の回りはスッキリします。でも、広く地球環境を汚すことになり、元の用途とは全く違って不用品が材料となって、別な形で活かされます。そして地球環境が守られるなら「人間だけでなくすべての生き物の幸せにつながるのではないかと」思います。ひらかた夢工房はそんな思いのボランティアさんが活動しておられます。

事業内容は、「生ごみのリサイクル」「自転車のリサイクル」「木工のリサイクル」「おもちゃの修理」「衣類のリフォーム」「自助具の製作」など、壊れたものや使われなくなったものに再び命が吹き込まれ、再利用されているのです。



資料 施設の概要



見学の様子



## 地域活力部

昨年3月19日に県の主催で東近江市役所でムラサキに携わる人および関心がある人の初めての会合がありました。その後連絡がないため、6月に県と東近江市役所に確認しましたが2回目の予定なしとのことで進展もなく落胆しました。

ムラサキは例年通り5月中旬に万葉公園に30株を植栽しました。前年より生育が遅かったのですが、6月中旬には半数近くが開花して中日新聞の取材を受けました。

その後7月下旬には全部枯れてしまいました。立地条件良しと思っていたのですが、地元の方によると、当公園の美化作業において、以前除草剤を散布されていたことが判明しました。この結果を踏まえ、昨年秋に公園内の新しい場所へ植栽する準備をしました。

## 健康・福祉部

昨年は、7月に天然酵母パン教室、10月には万葉フェスタで天然酵母パンの出店、11月には本にがり豆腐作りを中心に料理教室を行いました。

ここ10年マクロビオティック料理教室等の実習をさせていただきましたが、今年度は健康についての座談会をさせていただきたいと思っています。

最近の報道には、二人に一人が癌にかかるだろうと言われています。昨年年末には阪神の原口選手が、今年になって水泳の池江選手が、続いて女優の堀内ちえみさんが癌と報道されました。

なぜ、癌にかかるのか、予防はないのか等、話し合ってみたいと思います。

## 自然・環境部

とにかく不順な天候の一年でした。降らないと言えば一滴の雨も降らず、降るとなると洪水になる程の雨。「今までに経験したことのない」という言葉を何度テレビなどで聞いたことか。

自然相手の私たちの活動は天候に振り回されどうしの一年でした。逆にこの活動をしていればこそ感じるこの変動を「なお一層環境を守らなければ」と新たな意識につなげる一年でもありました。

1月末に訪れた「ひらかた夢工房」は普通捨ててしまうものをボランティアで再生させておられる施設でした。そういう活動の積み重ねが今後の地球環境を守り人々の幸せにつながるのだと感じる見学となりました。

## 安全・安心部

- 防犯パトロール（夏期および年末の2回）への参加
- 万葉フェスタでの非常食（炊飯袋ハイゼックスを使った塩おにぎり）の試食と緊急時の代用品紹介
- 東近江市主催の「わくわくこらぼ村」への参加
- 普通救命講習会の開催（14名受講・八日市消防署にて）
- 「減災のまちづくりプロジェクト」への参加

2019年度はこうした活動に加えて安全安心に対する意識向上につながる新たな内容に着手できればと考えていますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

## 子ども健全育成部

平成30年度は万葉フェスタの中に組み入れていただくことが本当に良かったと思います。

普通の日曜日は習い事やクラブが忙しく時間が作れない子どもさんも万葉フェスタには空いた時間に参加されました。万葉フェスタは終日の行事で、お互いに参加可能な時間帯が広がり、参加できる子どもさんの人数も増え、多くの部員も参加頂け、良かったと感じています。

子ども健全育成部の今後を考える時、何が必要で、何をしなければならないのかと悩みます。

この紙面をお読みくださった方々、是非、ご意見ご感想をお聞かせください。

## 歴史・文化部

昨年の歴史文化部のビデオ作品「市辺れきし発見」は、「虫送り」でした。東市辺の虫送りをお伝えしましたが、ほとんどの町でされていないので懐かしく見られたと思います。今年の「市辺れきし発見」は、「お地蔵さん」をテーマに制作する予定です。

各町で何体のお地蔵さんがおられるか？市辺地区全体では何体か？それから地蔵菩薩さまは、どういう仏さまか？地蔵さまにまつわる話を調べたいと思います。地蔵盆の様子も撮影したいと思います。皆さまのご協力をお願いします。



今日は、平成31年3月24日、春彼岸の最後の日です。この広報が届く頃には、新元号が発表されています。皆さまにとって、平成はどんな時代だったでしょうか。青空を楽しく飛んでいたようだった。曇り空だった。雨の中を彷徨っていた。新元号の時代が良き時代である事を祈ります。（とくを）